

令和 3 年（2021 年）9 月定例議会  
提出議案市長説明要旨（03. 9. 15）

本定例議会に提出いたしました議案について、その概要をご説明いたします。

議案第 114 号から第 123 号までの 10 件は、令和 2 年度横須賀市一般会計、特別会計及び企業会計の決算で、それぞれ監査委員の審査を経ましたので、議会の認定等に付するため提出するものです。

まず、一般会計の決算について概要を申し上げます。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症に対応するため、過去最多の 14 回に及ぶ補正予算の編成を経て、当初予算とは大きく異なる特殊な決算となりました。

歳出総額は約 1,996 億円で、一人 10 万円の特別定額給付金や子育て世帯への臨時特別給付金などの新型コロナウイルス感染症対策経費約 460 億円により過去最大規模となりました。

歳入面では、市税が前年度に比べて約 6 億円減少し、使用料等も約 4 億円落ち込むなど大きな影響がありました。

このため、期末手当や企業会計に対する繰出金の減額など、臨時的な歳出削減を行うとともに、減収補てん債や調整債の借り入れなどにより歳入を確保しました。

こうした調整の結果、実質収支は約 41 億円、また、経常収支比率は 101.8% でほぼ前年度並みとなりました。

次に、特別会計については、概ね前年度並みの執行率となっております。

企業会計のうち病院事業会計は、一般会計と同様に新型コロナウイルス

ス感染症の影響により、市立2病院に対する国、県からの補助金が増えたため、決算規模が前年度に比べ約2.4倍に拡大しました。

また、財政健全化法に基づく健全化判断比率については、いずれの指標も基準を超えるものではありませんでした。

次に、議案第124号は、猿島公園トイレ新築工事の請負契約を締結しようとするものです。

以上、提出議案について、その概要をご説明しましたが、よろしくご審議のうえ、ご議決いただきますようお願い申し上げます。